

南アメリカ・オセアニア 州

名前

- 問1 オーストラリアの鉱山開発で見られる「露天掘り」という採掘方法について、地下に穴を掘り進める「坑内掘り」と比較した際の特徴として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 地下深くまで複雑なトンネルを掘る必要があるため、熟練した作業員による手作業が中心となる | 2. 天候の影響を受けにくいため、熱帯雨林地域での金やダイヤモンドの採掘に最も適している | 3. 地表面から直接渦巻き状に掘り進めるため、大型重機を用いた効率的な大量採掘が可能である | 4. 土地を平らに削る必要があるため、山岳地帯において小規模な資源を丁寧に回収するのに向いている |
|--|--|---|--|
- 問2 オーストラリアから日本への輸入額において、最大の割合を占める資源の用途と特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|---|
| 1. アルミニウムを精錬するための原料として利用されている。 | 2. 日本の電力供給を支える火力発電の主要な燃料として利用されている。 | 3. 冷房や調理に用いられる都市ガスの主原料として利用されている。 | 4. 自動車や建築材料に欠かせない鋼鉄を作るための主原料として利用されている。 |
|--------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|---|
- 問3 南アメリカ大陸のペルー周辺、標高4000mを超えるアンデス山脈の高地において、寒冷な気候や険しい地形に適応した伝統的な土地利用として正しいものはどれですか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|----------------|----------------------|---------------------|
| 1. 小麦や大豆の大規模な機械化農業 | 2. アルパカやリャマの放牧 | 3. サトウキビの広大なプランテーション | 4. タロイモやヤムイモの自給的な栽培 |
|--------------------|----------------|----------------------|---------------------|
- 問4 太平洋に点在するフィジーなどの島々や、オーストラリア、ニュージーランドなどは、世界の地域区分において同じグループに分類されます。赤道付近から南半球にかけて広がるこれらの地域を総称して何といいますか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|----------|----------|
| 1. アフリカ | 2. オセアニア | 3. 東南アジア | 4. 北アメリカ |
|---------|----------|----------|----------|
- 問5 ブラジルにおいて、水力発電が発電電力量の大部分を占める主要なエネルギー源となっている地理的な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---|---|
| 1. アマゾン川やパラナ川などの豊かな流量を持つ大河川に恵まれているため | 2. 石炭や石油などの化石燃料が国内で全く産出されず、輸入も困難なため | 3. 一年を通じて雨が降らない乾燥した気候であり、河川の水位が安定しているため | 4. 国土の大部分が急峻な山脈で構成されており、ダム建設に適した落差が得やすいため |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---|---|
- 問6 世界各地の州の区分において、北アメリカ大陸やアジア、ヨーロッパなどとは異なる独立した地域として扱われる場所があります。広大な太平洋の海域に位置し、大陸全体が一つの国となっているオーストラリアや、火山島やサンゴ礁の島々から成る国々が含まれる州はどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|---------|----------|
| 1. ヨーロッパ州 | 2. オセアニア州 | 3. アジア州 | 4. アフリカ州 |
|-----------|-----------|---------|----------|
- 問7 南アメリカのブラジルでは、ある農作物を原料としたバイオ燃料の普及が世界的に見ても進んでいます。この農作物と、その普及の背景にある目的について述べたものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. カカオ豆を原料とし、アマゾンの森林破壊を防ぐための代替エネルギーとして開発が進められている。 | 2. さとうきびを原料とし、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を抑制する目的で利用されている。 | 3. 米を原料とし、化学燃料の価格高騰に対応するための安価なエネルギー源として普及している。 | 4. 小麦を原料とし、食料自給率の向上と同時にバイオ燃料としての輸出を拡大させている。 |
|---|---|--|---|
- 問8 オーストラリア北部の都市の気候統計において、「年平均気温が28.9度」「年降水量が1653.1mm」「12月から2月の降水量が極めて多い」というデータが得られた場合、その背景として正しい説明はどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--|---|
| 1. 内陸部に位置し、海からの湿った空気が遮断されるため、年間を通じて乾燥する。 | 2. 北半球と同じ季節変化を持つため、6月から8月に気温が最も高くなる。 | 3. 南半球に位置するため、北半球の冬にあたる時期に夏季を迎え、雨季となる。 | 4. 赤道から遠い高緯度に位置するため、年間を通じて偏西風の影響を強く受ける。 |
|--|--------------------------------------|--|---|
- 問9 オーストラリアの歴史において、1901年から1970年代まで続いた「白豪主義」が廃止され、多文化主義へと転換した背景として最も適切なものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 地理的に近いアジア諸国との経済的な関係が深まり、人種差別的な政策が国家の不利益になると判断されたため。 | 2. アメリカ合衆国との同盟を強化するために、英語を公用語とする白人層のみを国民とする法律を廃止したため。 | 3. 金鉱の発見によるゴールドラッシュが発生し、労働力不足を解消するために中国系移民を強制的に帰化させたため。 | 4. 先住民であるアボリジニとの和解が進み、彼らの伝統的な狩猟生活を国家の基本理念に据えることが決定したため。 |
|--|---|---|---|
- 問10 中央アメリカの南側に位置し、西を太平洋、東を大西洋に挟まれた広大な陸地があり、その北部にはコロンビア、東部にはブラジルなどの国々が位置しています。この大陸の名称として正しいものを選びなさい。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|------------|------------|-----------|
| 1. オーストラリア大陸 | 2. 北アメリカ大陸 | 3. 南アメリカ大陸 | 4. アフリカ大陸 |
|--------------|------------|------------|-----------|
- 問11 オセアニアに位置し、北島と南島の二つの主要な島からなるニュージーランドにおいて、古くからこの地に居住し、近年その独自の言語や文化が社会的に尊重されている先住民族の名称として正しいものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|--------|----------|
| 1. マオリ | 2. アボリジニ | 3. アイヌ | 4. イヌイット |
|--------|----------|--------|----------|
- 問12 赤道近くに位置するアンデス高地の都市における、気温の変化の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---|------------------------------------|--|
| 1. 緯度が高いため冬の寒さが厳しく、夏と冬の気温の差が極端に大きい。 | 2. 標高が高いため一年中冷涼であり、月ごとの平均気温の差（年較差）が小さい。 | 3. 一年を通じて降水量が非常に多く、気温は日ごとに激しく上下する。 | 4. 標高が低いため一年中高温であり、季節による気温の変化（年較差）が非常に大きい。 |
|-------------------------------------|---|------------------------------------|--|
- 問13 1960年代から2010年代にかけてのオーストラリアの貿易相手国の変化に関する記述として、統計上の変遷を正しく述べたものはどれか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 1960年代から一貫してアメリカ合衆国が最大の輸出相手国であり、21世紀に入ってもその地位は揺るぎないものとなっている。 | 2. 1960年代から現在に至るまで、欧州諸国が輸出額の半分以上を占め続けており、アジア諸国との取引は停滞している。 | 3. 1960年代には日本やイギリスが主要な輸出相手国であったが、2010年代には中国の割合が最大となり、イギリスの割合は大幅に減少した。 | 4. 1960年代にはイギリスの割合が圧倒的であったが、2010年代には隣国であるニュージーランドが最大の輸出相手国となった。 |
|---|--|---|---|